



7月1日～15日の活動報告

●安倍元総理ご逝去の報に接して

去る7月8日(金)、安倍晋三元内閣総理大臣がご逝去されました。衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

<金井会長コメント>

どのような背景があるか不明であるが、選挙期間中に暴力で言論を封殺することは、民主主義の根幹を揺るがすことであり、あってはならない。極めて強い憤りを感じる。

安倍元総理が亡くなられたことは日本にとって大変な損失であり、これまで強力なリーダーシップで我が国を牽引されてきたことに心から敬意を表するとともに、ご冥福をお祈りいたします。

●参院選結果に関する会長コメント

7月10日(日)に投開票が行われた参議院議員選挙の結果に関して、翌11日(月)に会長コメントを発表しました。

<金井会長コメント>

このたび当選された議員の方々に心からお祝い申し上げますとともに、今後のご活躍をご期待申し上げます。

昨今の資源高と円安等は企業経営に深刻な影響を及ぼしています。

強いリーダーシップのもと、原油価格や物価の高騰がコロナ禍からの社会経済活動の回復の妨げにならないように、政府として機動的な対策を実行していただきますようお願いいたします。更に、経済成長に不可欠なエネルギーの安定供給、安全保障、脱炭素化の実現に向けたエネルギー対策にも努めていただきますようお願いいたします。

また、北陸新幹線は、日本海国土軸の形成、大規模自然災害対策等の国土強靱化に資すると同時に、北陸の成長戦略の基盤となる最重要インフラです。特に、敦賀・新大阪間については、2023年度当初の着工、加えて2030年頃までの一日も早い大阪までの全線開業を強く要望いたします。

●第1回人財活躍推進委員会

日時：7月4日(月) 13:30-14:30
形式：オンライン
参加者：13名

冒頭あいさつにて八木委員長は、ロシアのウクライナ侵攻や原材料価格高騰などに関して、グローバルサプライチェーンの欠陥が露呈したと指摘。先行きが不透明な中で、デジタル化により産業構造の転換期を迎え、必要とされるスキルを働く人が自ら学び続けること、行政や教育機関が学びの場を提供すること、企業は働く人の学びをサポートすることの必要性に言及した。

議題1「2022年度政府に対する北陸経済界からの要望書(案)」では、政府の進めるBCPやデジタル田園都市構想に関して、北陸に海底ケーブルやデータセンターなどの情報インフラ基盤整備について追記すべきなどの意見が上がった。

議題2「事業計画の実施状況」では、4月に発表した会員アンケートによると男性の育休取得は多くの企業で低調であったことを報告した。コマネー(株)より、男女両方の育休取得義務化の制度や、不在の間をフォローする同僚の意識付けについて紹介いただいた。委員からは活発に意見があがり、目指す姿と現状に乖離がある中で急に進めると反発が出ることもあり、方向性を明示して一歩ずつ進めていくことが重要であるとの指摘があった。



(担当：日野)

●第1回社会基盤委員会

日時：7月5日(火) 13:30-14:30
形式：オンライン
参加者：17名

光野委員長は冒頭の挨拶で、北陸新幹線敦賀開業に向けて北陸3県の機運が盛り上がってきている感じがあり、金沢開業時と同じように再び北陸への関心や認知度が高まることを期待していると述べた。

委員会では、「2022年度政府に対する北陸経済界からの要望書(案)」、「2022年度事業計画の実施状況」について審議した。要望書(案)に対しては、

小松白川連絡道路の事業化促進について盛り込むこと、材料価格の高騰が深刻であるので、資源リサイクルに対する支援についてより具体的に記載すること、などの意見をいただいた。

(担当：高島)

●第1回観光委員会

日時：7月6日(水) 12:20-14:00

場所：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)

出席者：21名(会場16名、オンライン5名)

米沢委員長は冒頭の挨拶で、インバウンド誘客促進の具現化に向けた「北陸版DMO」の創設ならびに観光委員会メンバーや北陸三県の経済界等で構成する「検討WG」の設置の必要性について述べた。

委員会では「2022年度政府に対する北陸経済界からの要望書(案)」、「2022年度事業計画の実施状況」について審議した。要望書(案)に関して、オープンイノベーションでは現在主流の個人(専門家等)単位での取組みを意識した加筆や、女性活躍においては中小企業目線での支援やデータに基づいた女性流出の要因分析の重要性、観光インフラ関係では食事、移動、買物をシームレスに行えるプラットフォーム構築支援を加筆すべきなど、多くの意見が出された。このほか、米沢委員長から提案された「北陸版DMO」の創設に向けた「検討WG」を観光委員会の下に設置することについて了承された。

審議後、金沢大学融合研究域融合科学系准教授の藤生 慎氏より「センシング技術を用いて見えてきた観光行動」と題して、心拍・瞳孔・血糖やGPSの各データを用いることで観光客の国籍・時間帯別の行動指向が可視化されるなど、観光分野へのDX適用の可能性に関する講演をいただいた。



(担当：鳥山)

●第1回新たな価値創出委員会

日時：7月7日(木) 13:30-14:30

形式：オンライン

参加者：23名

北村委員長から冒頭の挨拶で、昨年度からの産学融合拠点創出事業「北陸RDX」、「北陸未来共創フォーラム」への参画に加え、本年度から大学にて進めている地域の中核大学の産学融合拠点整備、社会人向けのDX教育プログラム開発等の事業にも協力し、産学連携に取組

んでいきたいと述べた。

委員会では、「2022年度政府に対する北陸経済界からの要望書(案)」、「2022年度事業計画の実施状況」について審議した。

委員からは、企業は大学を上手く使ってもらい北陸地域の活性化に繋げて欲しい、DXリスキル教育プログラム紹介に対して企業のDX化を進めるには技術のみならず実施する社員のマインドを上げることが重要、地元企業への留学生を含めた学生の就業促進など、ご意見を頂いた。



(担当：坂井)

●第1回国際委員会

日時：7月8日(金) 13:00-14:00

形式：オンライン

参加者：18名

江守委員長は冒頭の挨拶で、本年度より新しく委員にご就任された総合商社の3名をご紹介、総合商社での視線でのご意見・ご助言を期待する旨、更には、当委員会の第五次中期アクションプランで定めた目標である、「市場開拓」、「高度外国人材の受入、及び特定技能外国人労働者の受入」が当委員会に課せられた取り組み課題である旨を改めて強調された。

委員会では、「2022年度政府に対する北陸経済界からの要望書(案)」、「2022年度事業計画の実施状況」に関し審議した。要望書関連では、「重点要望事項」の物価高騰対策の具体的内容を記載してはどうか、エネルギー不足が逼迫する中、原子力発電の再稼働を強調すべきではないか、更には世界的半導体不足による電気・電子部品が長納期化する中、カーボンニュートラルやサプライチェーンの正常化に向けての施策である、単年度の各種補助金の早期申



請、及び補助金支給要件の年度内導入完了期限延長を要望すべきではないか等貴重な意見が出され、事務局にて検討することとした。

(担当：小島・高道)

●2022年度 第1回海外現地情勢報告セミナー (タイ・インドネシア)

日時：7月11日(月) 13:00-15:00

形式：オンライン

参加者：88名

<主催者挨拶>

北経連 国際委員会 委員長 江守 康昌

【演題】「タイの最新情勢とビジネスの展望」

<第一部>「政治経済情勢」

住友商事グローバルリサーチ(株)

国際部 シニアアナリスト 石井 順也 氏

<第二部>「社会経済情勢の変化を踏まえた企業の動向と今後のビジネス展望」

タイ住友商事会社 社長 福田 康 氏

【演題】「インドネシアビジネスの可能性」

<冒頭挨拶>

丸紅(株)北陸支店 支店長 大西 英一 氏

<モデレーター>

丸紅インドネシア会社 取締役財務担当役員

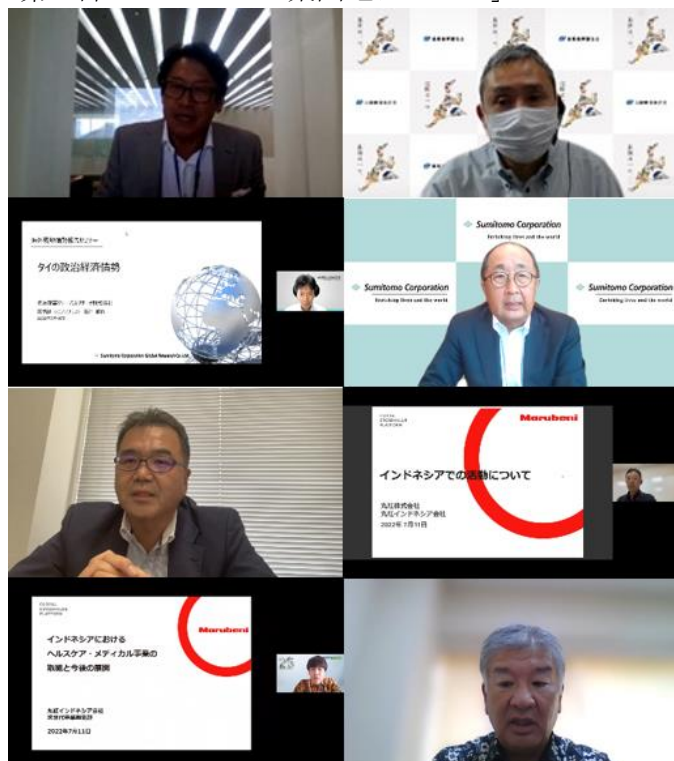
BAグループ長 中野 耕次 氏

<第一部>「インドネシアにおけるヘルスケア・メディカル事業の取組みと今後の展開」

PT Siloam International Hospitals Tbk

R&D アドバイザー 笠井 洋 氏

<第二部>「MM2100 工業団地について」



PT. Megalopolis Manunggal Industrial Development 社長 須藤 一夫 氏

江守委員長は、ウィズ・アフターコロナ時代のタイとインドネシアでの事業活動に資するべく、総合商社の現地駐在員視線での最新政治経済情勢・動向、ビジネス慣習、並びに現地発の新技术及び可能性等に関する生情報を発信する貴重な機会である旨を強調された。

開催後のアンケートでは、近々の社会経済情勢の変化を踏まえた動向と展望を把握でき、特に、タイのEV、再生可能エネルギー等での事業展開の魅力、インドネシアの先進的なヘルスケア事業を把握できた上に、質疑応答も専門家・現地駐在員ならでの貴重な回答が得られ、大変有意義な機会であったとの感想が数多く寄せられた。アンケート結果を参考に、次回の対象国、テーマ等を慎重に検討したい。

(担当：小島・高道)

●第1回総合対策委員会

日時：7月14日(木) 12:20-14:00

場所：ANAクラウンプラザホテル金沢

(オンライン併催)

参加者：17名(会場11名、オンライン6名)

稲垣委員長は冒頭の挨拶で、北陸地域の経済状況、労働生産性向上に向けた人材育成の重要性、企業の強みを活かした生産性向上の重要性等に言及した。

委員会では、「2022年度政府に対する北陸経済界からの要望書(案)」「2022年度事業計画の実施状況」について審議した。要望書(案)について委員からは「コロナ対策として、中小企業の抜本的な経営体質改善を目的に県の信用保証協会が行っている経営支援事業の推進強化を要望してはどうか」「原子力の早期再稼働のためには効率的な安全審査が重要であるため、その点も要望してはどうか」「コロナに関しては、経済社会活動の正常化がメインストリームであり、そのための合理的な対策を要望するというストーリーにしてはどうか」等、数多くの意見をいただいた。

なお、「2022年度政府に対する北陸経済界からの要望書」については、7月22日(金)開催の常任理事会の審議を経て決定する。



(担当：小林)

●労働生産性向上と一人当たり域内総生産（GRP）との関係性に関する勉強会

日 時：7月14日(木) 14:10-15:00

形 式：ANA クラウンプラザホテル金沢
(オンライン併催)

参加者：18名(会場7名、オンライン11名)

(一財)北陸経済研究所 倉嶋英二氏を講師に迎え、企業の労働生産性向上というミクロの取り組みが、域内総生産というマクロ指標とどのように関係しているのかをテーマとした勉強会を開催した。

倉嶋氏からは、「労働生産性を上げることは、人を減らして効率を上げるのではなく、付加価値を増加させることである」、「付加価値の増加こそが GRP の増加につながる」、「付加価値を増加させるためには、新たな製品、サービス、ビジネスモデル等を開発するために必要なモノや人に投資をすることが重要」等、数式を使った理論的な解説も交えながら、わかりやすく解説いただいた。



(担当：小林)

今後の行事予定**◆【実施】第354回常任理事会**

日 時：7月22日(金) 12:00-14:00

場 所：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)

対 象：副会長、常任理事に案内済

◆【視聴案内】外国人留学生と留学生OBとの意見交換会

北陸企業の労働力不足・生産性向上のために、高度外国人の活躍が重要であり、そのためには、北陸地域の大学に在籍する外国人留学生の北陸企業への就職支援が必要です。留学生に北陸の企業を知っていただくこと等を目的に、「外国人留学生と留学生OBとの意見交換会」を開催します。

日 時：8月10日(水) 13:30-16:00

形 式：オンライン(Teams)

※会員企業の方にはオンラインで配信します

テーマ：「北陸の企業に就職した留学生の就活のコツ」
13:30~13:45 開会等

13:45~14:35 意見交換会(1回目)

14:50~15:40 意見交換会(2回目)

15:45~16:00 総括、閉会

出席者：

・留学生(富山大学、金沢大学、北陸先端大、北陸大学、
金沢星稜大学、福井大学 6大学)

・留学生OB(地元11企業等)

<富山県>(株)小矢部精機、五洲薬品(株)、(株)新日本
コンサルタント、YKK(株) <石川県>(株)金沢ア
ドベンチャーズ、(株)東振精機、(株)のうか不動産、
北菱電興(株) <福井県>越前町教育委員会、(株)T
OP、日華化学(株)

・出席大学事務局、出席留学生OB企業関係者

対 象：全会員

申 込：8月3日(水)までに下のURL、またはQRコ
ードから申込み<https://forms.office.com/r/70C8tgPfQB>※申込者には8月8日(月)までに視聴用URL等を
配信します。※複数名の参加可能です。参加者
毎に申込みをお願いします。

(担当：岩田・高道)

**◆【実施】三県知事との懇談会**

日 時：8月24日(水) 14:00-16:30

場 所：ホテル日航金沢(オンライン併催)

対 象：全会員に案内済

◆【実施予定】北陸産学連携懇談会(学長懇)

日 時：8月30日(火) 10:00-12:00

場 所：福井工業大学

対 象：大学学長、会長、副会長、委員長へ案内済

◆【実施予定】福井工業大学見学会

日 時：8月30日(火) 13:00-15:30頃

場 所：福井工業大学 福井キャンパス

対 象：総合対策委員会委員、新たな価値創出委員会
委員へ案内予定**◆【参加者募集】北陸産学技術交流会(見学会)**テーマ①「研究設備の外部利用と利用支援サー
ビス」(主査：金沢大学)

金沢大学と北経連の共催で下記の見学会の参加者
を募集します。本テーマに関心のある会員企業の実
務者の方のご参加をお待ちしております。

貴社で関係ありそうな部署へのご周知をお願い申
し上げます。

主 査：金沢大学 先端科学・社会共創推進機構

日 時：9月15日(木) 14:10-16:00頃



場 所：金沢大学角間キャンパス 自然科学本館
(金沢市角間町) リアル開催

概 要：オープンイノベーションがさげられるなか、本学では保有する研究機器・設備を産学連携や社会共創に役立てるために学外の方の利用を受け入れています。本交流会では、外部利用可能な研究設備等の見学と説明会形式をとり、本学で提供する研究支援サービスを紹介するとともに、個別相談にも対応する予定です。

<外部利用可能な設備等>

<https://skrs.adm.kanazawa-u.ac.jp/portal>

対 象：テーマに関心のある会員団体の実務者等

定 員：20名 [先着順]

詳 細：

<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/5c858b90c3be91bf5b727ba06bb0c3e8.pdf>

申 込：下の URL から申込ください。

<https://forms.office.com/r/akksYvnWy7>

締 切：8月9日(火) ※定員に達し次第締切

(担当：坂井)

◆【参加者募集】「日韓次世代人材チャレンジフォーラム」北陸地域若手人材と韓国若手人材による課題検討会

日韓の企業には直面する課題に多くの共通点があり、その課題解決への対応方法には多くの学ぶべき点があります。今年度は、北陸地域のモノづくり企業若手人材と韓国のモノづくり企業の若手人材が、海外進出における経営課題について、お互いの知見をもとに議論し、行動ネットワーク、コミュニティを形成し、新たなミッションステートメントを検討します。

目 的：韓国の次世代経営者と北陸地区の若手経営幹部が、海外事業展開における課題解決に向けてコミュニケーションを図るなかで、経営に必要な専門知識、解決能力、海外企業との事業展開方法を習得する。

日 時：10月21日(金) 10:00-17:30

場 所：ホテル日航金沢

定 員：日韓の経営者クラス 20名(日本/北陸側：10名、韓国側：10名)

※日本側は各社2名を想定

申 込：7月29日(金) 17:00までに、下の URL 又は QR コードから申込み



<https://forms.office.com/r/kLJk16265t>

詳 細：<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/1528.html>

主 催：(一財)日韓産業技術協力財団、(一社)日韓経済協会

共 催：北陸経済連合会、北陸AJEC

<詳細><https://www.hokkeiren.gr.jp/news/1528.html>

(担当：小島・高道)

お知らせ

■石川労働局からのお知らせ 改正育児・介護休業法説明会

2022年10月から産後パパ育休制度(出生時育児休業)が新設されるとともに、育児休業の分割取得が可能になり、規程整備等の対応が求められます。法改正の内容や就業規則整備等の対応について説明します。また、説明会会場では、石川働き方改革推進支援センターの専門家による個別相談もあります。

【金沢会場】金沢駅西合同庁舎6階/オンライン

7月26日(火) 14:00-15:30

8月2日(火) 10:00-11:30、14:00-15:30

8月26日(金) 10:00-11:30、14:00-15:30

9月2日(金) 10:00-11:30、14:00-15:30

【小松会場】小松日の出合同庁舎6階/オンライン

8月29日(月) 14:00-15:30

【穴水会場】穴水地方合同庁舎/オンライン

8月23日(火) 13:30-15:00

※いずれの会場もオンライン同時開催しますので、石川県以外の企業の方もご参加いただけます。

【詳細・申込】

https://jsite.mhlw.go.jp/ishikawa-roudoukyoku/banner/04ikukaisetsumeikai_00001.html

【問合せ】石川労働局雇用環境・均等室

TEL：076-265-4429

(担当：日野)

■富山県からのお知らせ 女性活躍「ファーストペンギン企業」パイロット事業費補助金のご案内

女性活躍の分野において「ファーストペンギン」を目指し、先駆的・意欲的な挑戦を行う事業者を応援します。この度、補助金を積極的に活用いただける事業者を募集します。

【対象者】富山県内に事業所を有する企業個人事業主、団体

【対象事業】女性活躍や働き方改革の推進につながる先駆的・意欲的な事業

【補助額】対象経費の1/2(上限額25万円)

【詳細・申請】

<https://www.pref.toyama.jp/101703/kurashi/kyousei/zyoseikatsuyaku/firstpenguins.html>

【問合せ】富山県知事政策局働き方改革・女性活躍推進室女性活躍推進課 TEL：076-444-3328

(担当：日野)

■北陸産業活性化センターからのお知らせ
「北陸産業活性化フォーラム」

【日時】8月2日(月) 13:30-16:15

【場所】石川県立大学

【内容】

(1) 講演(講演のみオンライン配信あり)

演題①「産学連携にあたり～知的財産権の取扱いが
関連する契約を中心に～」

県立広島大学准教授 川畑 哲郎 氏

演題②「障害者による粗飼料生産での機械利用とヒツ
ジ生産を支援する技術開発について」

石川県立大学特任教授 石田 元彦 氏

(2) 施設見学

石川県立大学 食品科学科内の実験装置・研究設
備、生物資源工学研究所

【詳細】

<https://www.hiac.or.jp/news/details/20220802.html>

【申込】7月27日(水)までに下のURLから申込

<https://forms.office.com/r/LjZx1lATT3>【主催】(一財)北陸産業活性化センター、北経連、NPO
法人北陸ライフテッククラスター研究会、ほくりく先端複合材研究
会、北陸マイクロナノテック研究会、ほくりく環境・バイオマス
研究会【協力】経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支
局

【問合せ】(一財)北陸産業活性化センター

TEL: 076-264-3001 FAX: 076-264-3900

(担当：渡辺)

■ジェトロからのお知らせ【ウェビナー】アジア各国の現況と新たなビジネス
スタンス 2022 夏本ウェビナーでは現地在住の海外投資アドバイザー
より、現地ビジネス環境の現状、今後の展望等について
最新の情報を紹介します。

【インド・中国編】7月27日(水) 14:00-15:45

【東南アジア I 編】7月28日(木) 13:00-16:15

【東南アジア II 編】7月29日(金) 13:00-16:45

【形式】オンライン(zoom)

【主催】ジェトロ・ビジネス展開支援課

【定員】配信可能容量を超えた時点で申込締切

【詳細】

[https://www.jetro.go.jp/events/bda/9a2426db94ed7
abc.html](https://www.jetro.go.jp/events/bda/9a2426db94ed7abc.html)

【申込】7月20日(水) 17:00まで

【問合せ】ジェトロ・ビジネス展開支援課

E-mail: bda@jetro.go.jp

(担当：高道)

■ジェトロからのお知らせ

ベトナムスタートアップテクノロジーLIVE

～第20回：アグリテック第2弾～

日本企業との協業に関心のあるベトナムのスタ
ートアップ等よりソリューションを紹介し、日越企
業間の連携・事業拡大を目指します。第20回は、
「アグリテック(農業)」をテーマに、調理済み食品・
半調理品の販売・配達サービスアプリを提供する
FOOD HUB、スマート灌漑装置など農業生産管理スマ
ートソリューションを提供するMIMOSA TECHNOLOGY、
農薬散布などドローンを活用したサービスを提供
するESGreenのスタートアップ3社をご紹介します。

【日時】7月27日(水) 15:30-17:05

【形式】オンライン(Zoom)

【定員】200名(予定)

【言語】日本語(日越同時通訳)

【主催】ジェトロ

【詳細】

[https://www5.jetro.go.jp/newsletter/vha/2022/
InnovationTeam/220727_annai.pdf](https://www5.jetro.go.jp/newsletter/vha/2022/InnovationTeam/220727_annai.pdf)【申込】7月26日(火) 正午までに下のURLから
申込<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/vha/vst120>

【問合せ】ジェトロ ハノイ事務所

Email: VHA-Innovation@jetro.go.jp

(担当：高道)

■北経連事務局の人事異動

調査役 神地 大樹

出向元の福井銀行へ帰任

(7月11日付)

以上